

7/15  
 2023年第1464号  
 (毎月5、15、25日発行)

### 健康保険証を廃止しないことを求める請願署名

健康保険証を廃止しないことを求める請願署名

署名欄

氏名	住所

一、現行の健康保険証の廃止方針を撤回すること

## 保険証廃止に待った！ 署名にご協力を

理事長 小澤力



政府が2024年秋に「保険証廃止」を目指す方針を変えていない中、最新の世論調査でも72%の国民が廃止に反対の意思を示している。協会は7月理事会で改めてこの署名に取り組みことを決定。小澤力理事長が署名への協力を呼びかける。

マイナ保険証のトラブルが続出しています。6月29日に厚労省は、とうとう医療機関を受診する際には現行の保険証を持参してこれと言わざるを得なくなりました。岸田内閣は総点検を行うと言っていますが一回点検したら解決するの。今後も姓名、住所、

### 国民の基本的な権利

口から食べる、人と話すなどの口腔の機能は全くなければなりません。健康で文化的な生活を営む権利を定めた憲法25条に基づき国民の基本的な

### ①ポイント 歯科医療改革提言の連団保

### 戸井逸美保団連政策部員が解説

保団連は、6月25日の代議員会で保団連歯科医療改革提言第3版「歯科医療費の総枠拡大で歯科医療の発展を」を決定した。自治体との交渉や議員懇談でも活用できるよう作成。すべての国民がより良い歯科医療を受けられるよう保団連の目指す歯科医療の姿を明らかにする。保団連政策部員の戸井逸美副理事長がポイントをシリーズで解説する。

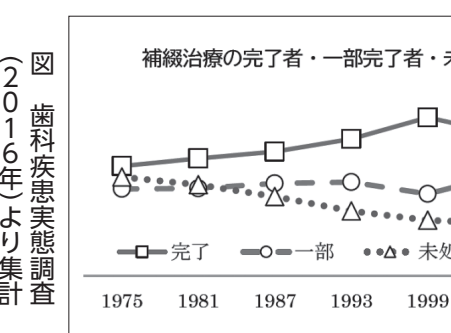
ての国民が等しく享受できなければなりません。健康で文化的な生活を営む権利を定めた憲法25条に基づき国民の基本的な

### 患者の窓口負担軽減が急務

国民の受診を妨げ、健康を損なっている深刻な状況も報告されています。抑制の実態があります。この状況は、コロナ禍での受診控えや物価高騰などによる経済的困窮世帯の拡大、また昨年10月から75歳以上の窓口負担2倍化などの制度改悪などにより一層悪化しており、今年2月に保団連が発表した患者アンケートでも「歯科の定期受診を控えるを得ない」などの声が寄せられています。



## 窓口負担軽減が急務

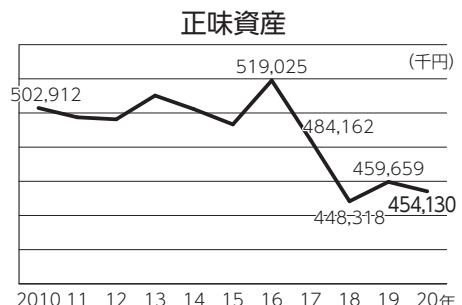


### 求人情報の更新

協会ホームページの求人情報を7月15日に更新しました。  
 URL  
<http://osk-hok.org/job/>

### お知らせ 10月から会費改定 29年ぶり 正会員6500円 勤務医3500円

協会は、5月28日に開催した第56回定期総会で、29年ぶりとなる会費の改定を決定しました。年々、歯科を取り巻く状況が厳しくなる中での会費改定については大変心苦しい限りですが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。



協会が会費改定を決定した大きな理由は消費税の引き上げや物価高騰に加え、急激な正味資産の減少にあります。29年間にわたる会員増加やコスト削減に取り組んできましたが、2010年に約5億円あった協会の正味資産が2020年には4億5千万円と約5千万円減少しています。正味資産の主な内容は、建物および付属設備などの固定資産と流動資産としての預金や繰越金などです。特に直近の5年間で大きく減少しており安定的な収支を確保する必要に迫られています。

固定資産は、10年間で2千万円以上の減少となりました。新規事業などの原資となる流動資産は2010年度決算時と比べ2020年度決算時では2千万円減少しています。また、直近の決算では年500万円程度の収入不足が発生しています。こうした状況を打開するために、約2年間にわたる

理事会で検討してきました。理事会では、①これまで赤字の時にだけ積み立ててきた会館建設費や災害対策費、備品購入費などの積立金を恒常的に積み立てる②協会活動を維持継続して、さらに強化する——ために少なくとも4千万円程度の収入を確保する必要があります。その認識に至りました。そこで本年10月から正会員会費を5500円から6500円に、勤務医会費を3000円から3500円にすることを先の総会で決定しました。今後とも協会活動を一層充実するため、役員・事務局が一体となって尽力します。会員の先生方のご理解とご協力をお願い申し上げます。

### 施設基準の定例報告お忘れなく 7月末日必着

施設基準等の届出を行った保険医療機関は毎年、7月1日現在の施設基準等の状況を近畿厚生局（以下「厚生局」）指導監査課に報告する必要があります。報告が必要となるのは、▽初診料（注1）の届出▽歯援診1・2の届出▽選定療養の実施▽歯科衛生士実地指導料又は訪問歯科衛生指導料の算定——をするなどの歯科医療機関。特に、初診料（注1）の届出医療機関は、府内に開設する保険医療機関の9割を超えるため、大半の医療機関は報告の必要がある。報告に必要な様式等は厚生局HPからダウンロードする。様式送付を希望する場合は電話で請求する（TEL：06-7663-7666）。医療機関コードを申し出る。

報告様式は [こちら](#)



### 歯界

昨今、手紙を書くことが少なくなっている。メールやSNSの普及のせいだろうか。年賀状も子どもの頃は、家族写真などを付け、近況を報告したりしていたのも形式のみになっていく。「暑中見舞い」も書かない人が多し。「暑中見舞い」とは、暑さをねぎらう挨拶状で元々は、お盆のお供え物やお世話になっていの方へ物を贈る習慣。健康への気遣いを込めて送り、はがきでの短い便りだが、メールより温もりと丁寧な印象を与えられるのが魅力ではなからうか。互いの心を通わせるひとつの手段と言える。世界中で、紛争・戦争は絶え間なく続いている。話し合えば解決することもあるはず。1996年キューバ危機のとき、連年相対立していたアメリカ大統領ケネディの間で交わされた書簡により核戦争は回避された。戦争で一番犠牲になるのは社会的弱者の女性や子どもたち。軍拡ではなく話し合いの手紙で解決策を考えるべき。亡くなった方達を弔い、世界平和を祈る。(Y)